

■このテキストの特色と使い方

○ このテキストは、国立・一流私立中学校受験をめざすみなさんに、より高い学力をつけてもらい、自信を持って受験に臨んでもらうためにつくられました。

○ 問題は、国立・一流私立中学校の実入試の漢字・文法問題からよく出る分野の問題を編集してありますので、漢字・文法問題の対策は、この一冊で万全です。

*設問の都合上、問題を改めたり一部削除さくじょしたりしています。

もくじ

〔漢字・ことば〕

1	漢字の書きとり	1
2	漢字の読み	5
3	同音・同訓異義語	9
4	部首・筆順・画数	13
5	熟語の組み立て	17
6	三字・四字の熟語	21
7	類義語・反対語	25
8	慣用句・ことわざ・故事成語	29

〔文法・知識〕

9	語句の意味・用法	33
10	漢字・ことばのまとめ	37
11	主語・述語・修飾語 <small>しゅうしきご</small>	41
12	助詞・助動詞	45
13	品詞の識別	49
14	敬語	53
15	文学史	57
16	文法・知識のまとめ	61

1 漢字の書きとり

① 次の——線部のカタカナを漢字に直しなさい。

(1点×5)

〔芝(東京)〕

1 チヨスイ池。

〔 〕

2 運動会をエンキする。

〔 〕

3 小包をユウソウする。

〔 〕

4 二国間でドウメイを結ぶ。

〔 〕

5 年賀状をインサツする。

〔 〕

② 次の文章を読み、——線部①～⑥のひらがなをすべて漢字に直しなさい。

(1点×6) 〔東海大付浦安(千葉)〕

コンピューターを使う機会が多くなるにつれて、視力^①しようがいや頭痛をうったえる人も現れてきている。コンピューターを使うときは目を休めるなどの配りよが必要である。コンピューターやネットワークが^②さかんに使用されるようになると、^③かちのある^④じょうほうが不正に使用されたり、^⑤ごようされたりするなど、さまざまな問題が発生している。このようなことをなくすためには、^⑥じょうほうが適切にかんりされる必要がある。

③ 次の——線部のカタカナを漢字に直しなさい。

(1点×10)

〔慶應義塾普通部(神奈川)〕

1 ネンガンの勝利。

〔 〕

2 シンカンの図書。

〔 〕

3 キュウゴ活動をする。

〔 〕

4 台風がセツキンする。

〔 〕

5 コクモツの倉庫。

〔 〕

6 父母にコウコウする。

〔 〕

7 サンプクで一休み。

〔 〕

8 カイシンの笑みをもらす。

〔 〕

得点	
①～⑥	/40
⑦～⑫	/60
計	
100	

④	①
⑤	②
⑥	③

9 テイリユウジヨで待つ。

〔 〕

10 イツキヨに点を取る。

〔 〕

④ 次の——線部のカタカナを漢字に直しなさい。

(1点×5)

〔武蔵野女子学院(東京)〕

1 ピアノのエンソウ会を聴ききに行く。

〔 〕

2 わが国の外交セイサク。

〔 〕

3 ケンポウを守る。

〔 〕

4 母のアンピをたずねる。

〔 〕

5 会社にシュウシヨクする。

〔 〕

⑤ 次の——線部のカタカナを漢字に直しなさい。

(1点×10)

〔甲南(兵庫)〕

1 文章をネつつた。

〔 〕

2 姿をトトノえた。

〔 〕

3 きれいでコマかい仕事。

〔 〕

4 人をサバくのはむずかしい。

〔 〕

5 だめだとコトワられた。

〔 〕

6 田をタガヤす。

〔 〕

7 手をサシ出す。

〔 〕

8 白いスジの入ったシャツ。

〔 〕

9 彼かれをササエて歩いた。

〔 〕

10 自然のキビしさとたたかった。

〔 〕

⑥ 次の——線部のカタカナを漢字で書きなさい。送りがなをふく

むものは、送りがなもつけて書きなさい。

(1点×4)

〔日本大豊山(東京)〕

1 石に文字をキザム。

〔 〕

2 学級委員をツトメル。

〔 〕

3 大きさにセンデンする。

〔 〕

4 両親ともケンザイである。

〔 〕

⑦ 次の——線部のカタカナを漢字に直しなさい。

(1点×6)

〔立教(東京)〕

1 彼はカ|ン|セ|イが豊かだ。

〔 〕

2 主戦投手を最後までオン|ゾ|ンしておいた。

〔 〕

3 リーダーのヨウ|セ|イに努める。

〔 〕

4 シン|ミになって世話をする。

〔 〕

5 兄からタ|ヨ|リが届く。

〔 〕

6 煙が|目|にシ|みる。

〔 〕

⑧ 次の——線部のカタカナを漢字に直しなさい。

(1点×10)

〔奈良学園(部分)(奈良)〕

1 旅行費用をク|メ|ンする。

〔 〕

2 ジョウ|セ|キどおりの手がたい作戦。

〔 〕

3 友人のショウ|ウ|ソクをたずねる。

〔 〕

4 協議はナ|ン|コウした。

〔 〕

5 議会は法案をカ|ケ|ツした。

〔 〕

6 ケン|ト|ウもつかない話。

〔 〕

7 新記録をジ|ュ|リツする。

〔 〕

8 ご意見をウ|ケ|タマワる。

〔 〕

9 決勝戦でヤ|ブ|れる。

〔 〕

10 本音とタ|テ|マエを使い分ける。

〔 〕

⑨ 次の1～4の文を読んで、それぞれの——線部のことばを後の

カタカナのことばから選び、漢字に直しなさい。

(2点×4)

〔昭和女子大附昭和(東京)〕

1 昭子さんは、おだやかでまじめな中学生です。

〔 〕

2 和子さんは、けっしてうそをつかない人です。

〔 〕

3 わたしは、おかしづくりにわれをわすれてうちこみました。

〔 〕

4 子どもの喜んだ顔つきを見ると、母親はほっとします。

〔 〕

メイロウ	セイジツ	オンコウ	ニッシンゲツポ
ヒョウジョウ	ジュウニントイロ	ムガムチュウ	

⑩ 次の1～5の文に入る最も適当なことを後から選び、漢字に直しなさい(同じことを二度使わないこと)。(2点×5)

〔横浜雙葉(神奈川)〕

1 彼は神の存在を()していた。

2 試験のために()になって勉強した。

3 日曜日には校庭を()する。

4 芸術作品を()する。

5 この試合は()に負けられない。

へいこう	ぜったい	たいしょう	かいほう
ひっし	かくしん	せいさく	

⑪ 次の1～5までの各文には、それぞれ二つずつ漢字の誤りがあります。その漢字を正しい漢字に直しなさい。(1点×10)

〔久留米大附設(福岡)〕

1 彼は窓を明けて、手足をのばし、心呼吸をした。

2 国は災害に供え、危険忘止のための万全の対策をたてた。

3 彼は専門家として地震が起こることを余想した。

4 彼は経險が豊かなので判談が的確だ。

5 問題は以外に優しかったので、合格はまちがいないだろう。

⑫ 次の1～8のカタカナを漢字に直して、左の文の[A]に入れ、[B]には文の意味にあった漢字を補って文を完成させなさい。

(2点×8) 〔目黒星美学園(部分)(東京)〕

例 今日はずかれている。

1 初日の出をオガむ。働きすぎると[A] [B]がたまる。〔疲労〕

2 洗ったらチヂんでしまった。お手紙を[A] [B]いたしました。

3 両親をウヤマう。二分の1に[A] [B]する。

4 アヤマった考え。彼の言動は[A] [B]を招きやすい。

5 望んでいた職にツク。大統領[A] [B]の演説を聞く。

6 子どもを知り合いにアズける。銀行で[A] [B]を引き出す。

7 税金をオサめる。その考えは[A] [B]できない。

8 家業をツぐ。伝統芸能を[A] [B]する。

5 熟語の組み立て

① 次の1〜3の漢字と下の語群を結びつけて二字の熟語を作る場合、作れないものが一つあります。その一つを記号で答えなさい

(語群の漢字は上下どちらにつけてもかまいません)。(2点×3)

〔鴎友学園女子(東京)〕

1 作

ア 佳^か イ 新 ウ 曲 工 家
 才 用 カ 伝 キ 試

2 文

ア 句 イ 序 ウ 体 工 天
 才 世 カ 注 キ 通

3 語

ア 源 イ 法 ウ 調 工 交
 才 漢 カ 季 キ 学

1
2
3

② 次の漢字と反対の意味の漢字を□に入れて、二字熟語を作りなさい。
 (1点×4) 〔明治大付中野(部分)(東京)〕

1 新□ 2 好□ 3 利□ 4 興□

1
2
3
4

③ 次の1〜4について、それぞれ例の熟語と同じ関係になるように、□に漢字を入れなさい。

(1点×4) 〔雙葉(東京)〕

例 温暖

1 豊□ 2 □木 3 救□ 4 □庫

1
2
3
4

④ 漢字の熟語は、文字と文字のいろいろな組み合わせによって成り立っています。たとえば、

ア 上の字の意味が下の字の意味を修飾しているもの(高山)

イ 同じような意味の字を組み合わせたもの(学習)

ウ 反対の意味の字を組み合わせたもの(明暗)

エ 上の字と下の字が主語と述語の関係にあるもの(雷鳴)

オ 下の字から上の字に返って読むと意味がわかるもの(乗馬)

では、次の1〜10の熟語はア〜オのどれにあてはまりますか。

それぞれ記号で答えなさい。(1点×10) 〔松蔭(改題)(東京)〕

1 往復 2 願望 3 開式 4 競争 5 日没^{じちぼつ}
 6 公害 7 入院 8 人造 9 軽傷 10 寒暖

6	1
7	2
8	3
9	4
10	5

得点
①~⑦ /40
⑧~⑩ /60
計
100

⑤ 次の1〜3の熟語と同じ組み合わせのものをア〜エの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。(1点×3)

〔東京家政大附女子(東京)〕

3 読書				1 上下			
エ	ウ	イ	ア	エ	ウ	イ	ア
着席	必要	温水	往復	延長	出発	貧富 <small>ひんぷ</small>	大量
				2 森林			
				エ	ウ	イ	ア
				親友	最初	海岸	田畑

1
2
3

⑥ 次の熟語のグループの中には、それぞれ一つだけ、他の熟語と成り立ちのちがうものがふくまれています。その熟語を選び、記号で答えなさい。(1点×3)〔聖徳大附(部分)(千葉)〕

- | | | | | | | | | | | |
|---|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|
| 1 | ア | 商品 | イ | 温泉 | ウ | 視覚 | エ | 尊敬 | オ | 紅茶 |
| 2 | ア | 絵画 | イ | 基本 | ウ | 学習 | エ | 提供 | オ | 貯金 |
| 3 | ア | 収支 | イ | 価値 | ウ | 単複 | エ | 前後 | オ | 進退 |

1
2
3

⑦ 漢字の熟語は次のア〜オのような成り立ち方をしています。後の熟語はそれぞれの説明にあたりますか。記号で答えなさい。(1点×10)〔摂陵(大阪)〕

- ア 同じような意味の漢字を重ねたもの。(例 暗黒)
- イ 反対の意味を持つ漢字を重ねたもの。(例 有無うむ)
- ウ 上の漢字が下の漢字を修飾しゅうしやくしているもの。(例 青空)
- エ 下の漢字が上の漢字の動作の対象となっているもの。

- オ 上の漢字が主語で、下の漢字が述語になっているもの。(例 入学)
- (例 地震じしん)

- | | | | | | | | | | |
|---|----|---|----|---|----|---|----|----|----|
| 1 | 読書 | 2 | 広場 | 3 | 天地 | 4 | 自己 | 5 | 昼夜 |
| 6 | 作文 | 7 | 校門 | 8 | 県立 | 9 | 変化 | 10 | 月光 |

6	1
7	2
8	3
9	4
10	5

⑧ 二字の熟語について、次の1～4の組み立てのものを、後にあげたア～サの熟語の中から二つずつ記号で選び、答えなさい。
 (1点×8) 「南山中女子部(部分) (愛知)」

1 上の漢字が表す動作の目的や対象を示す漢字が下にきているもの。

2 下の漢字の意味を打ち消す漢字が上についているもの。

3 同じか、よく似た意味を持つ漢字を組み合わせたもの。

4 長い熟語を縮めて短くしたもの。

- ア 就職 イ 高級 ウ 国連 エ 未定
- オ 幸福 カ 急性 キ 真実 ク 非常
- ケ 採光 コ 入試 サ 血管

1
2
3
4

⑨ 次の1～4の□の中に、反対の意味を持った漢字を組み合わせて入れ、文を完成させなさい。答えは右下の漢字群から選びなさい。
 (1点×4) 「玉川学園中(部分) (東京)」

- 1 □□ 相半ばする結果に終わり、私は困ってしまった。
- 2 原野を□□ 無尽むじんにかけめぐる。
- 3 重要な問題については、国民に□□ を問う必要がある。
- 4 けじめをつけて、□□ 混同しないようにする。

国・横・損・私・操・罪・非・公・縦・富・功・是ぜ・貧・自

1
2
3
4

⑩ 熟語を構成している二字の漢字の関係には、意味のうえで、1

似たような意味が重なったもの。2上が下を修飾しゅうじやくするもの。3「—」に「—」を「にあたる漢字が下にくるもの。4上が下を打ち消しているもの。のような関係があります。そこで次の漢字を使って1～4の関係になる熟語を作りなさい。同じ漢字を二度使ってはけません。
 (2点×4) 「玉川学園中(部分) (東京)」

業・冷・急・限・始・無・病・寒

1
2
3
4

⑪ 「人名」という熟語は、上下の字を逆になると「名人」という語になります。このように、上下の字を入れかえても意味の通じる語の組み合わせを、次の□内の漢字を使って五組作りなさい。
 (2点×5) 「聖セシリア女子(神奈川)」

年・会・分・読・要・上・配・来・解・当・議・合・所

12 次の1～5の条件にあてはまることばを、後のア～コの中からそれぞれ二つずつ選び、記号で答えなさい(同じ記号は一度しか使えません)。(2点×10)〔実践女子学園(東京)〕

- 1 上の字を音で、下の字を訓で読む熟語。
- 2 上の字を訓で、下の字を音で読む熟語。
- 3 上の字と下の字を入れ替えて読むと訓読みから音読みに変わる熟語。
- 4 上の字と下の字を入れ替えても意味がほとんど変わらない熟語。
- 5 上の字と下の字を入れ替えると意味が変わる熟語。

- ア 苦勞
- イ 水着
- ウ 行進
- エ 親身
- オ 野原
- カ 手本
- キ 素質
- ク 仕事
- ケ 習慣
- コ 指図

4	1
5	2
	3

13 例にならって、二字の熟語になるように次の□に漢字を入れなさい。(2点×3)〔清泉女学院(神奈川)〕

例 円 → □ → 腹
未 → 瀾 → 足

1 設 → □ → 体
確 → □ → 案

2 決 → □ → 地
接 → □ → 用

3 果 → □ → 体
口 → □ → 技

1
2
3

14 例にならって、二字の熟語になるように次の□に漢字を入れなさい。(2点×2)〔灘(部分)(兵庫)〕

例 真 → □ → 夜
白 → 昼 → 食

1 手 → □ → 物
上 → □ → 評

2 大 → □ → 交
島 → □ → 家

1
2

11

主語・述語・修飾語

しゅごうしよく

① 次の各文の中から主語と述語を選び、番号で答えなさい。

(1点×10) [小野学園女子(東京)]

- 1 わたしたちは夕方ある町に着いた。
- 2 遠くのほうに青い海が見える。
- 3 隣のおじさんも明日ヨーロッパへ旅立つ。
- 4 白い雲をかぶった山のみねが美しくかがやく。
- 5 そんな簡単な問題ならほくでも楽に解ける。

4	1
主語	主語
述語	述語
5	2
主語	主語
述語	述語
	3
	主語
	述語

② 次の——線部のことばは、どのことばを修飾しゅうしやくしていますか。修飾されることばを番号で答えなさい。

(1点×5)

[城西大付城西(東京)]

- 1 その子はそまつなみどりの着物を着てはだしでした。
- 2 とほとほと冬の山道を一人の旅人が帰って行く。
- 3 井戸いっぱいひろがったまるい波もながすっかり消えた。
- 4 北極ぐまは年じゅう氷の上でくらしている。
- 5 日本人はまだまだ実用一点ばりの考え方が多い。

③ 次の——線部①～⑤は、A—主語、B—述語、C—修飾語のうちどれですか。A～Cの記号で答えなさい。

ちどれですか。A～Cの記号で答えなさい。

(1点×5)

[共立女子第二(東京)]

- ・プロ野球選手をあきらめたぼくは、次にマンガ家になろうと思っ
- た。
- ・日本を訪れる外国人の数は増え続けています。
- ・私です、窓ガラスを割ってしまったのは。
- ・井上さんも今日はたぶんおくれるでしょう。

①
②
③
④
⑤

④ 次の1～5の文は、A～Cのどの型になりますか。それぞれ記号で答えなさい。

(1点×5) [潤徳女子(東京)]

- A 何がどうする B 何がどんなだ C 何がなんだ

- 1 なんととっても雪におおわれた山々の姿は美しい。
- 2 白い雲がふわふわと舞う。
- 3 わたしが案内係の山田です。

1
2
3
4
5

得点	
①～⑦	/40
⑧～⑭	/60
計	
100	

- 4 ためになる本を読むようにしよう。
5 ぼくの兄が作った模型はすばらしい。

1
2
3
4
5

⑤ 次の文の主語および述語にあたる部分を、例にならってそれぞれ答えなさい。なお、それにあたることばがない場合は×印を記入しなさい。
(1点×10) [松蔭(東京)]

例 花子さんは 今年の 四月から 中学生です。

答 主語Ⅱ① 述語Ⅱ④

- 1 おばさん、いまやとここに着いたのです。
2 長野県ではもう初雪が降ったらしい。
3 北海道からは山本さんだけ遠いところをやってきた。
4 今年の夏休みにはよくプールで泳ぎました。
5 ほんとうにきれいだね、向こうに見える山は。

4	1
主語	主語
述語	述語
5	2
主語	主語
述語	述語
	3
	主語
	述語

⑥ 次の1～3の線部が修飾しているのはどこですか。それぞれ記号で答えなさい。
(1点×3) [カリタス女子(神奈川)]

- 1 人間が知恵をつくして長い年月をかけて品種改良した結果。
2 これはかれの解剖学的な関心から描いたものです。
3 いくつもの部屋に分かれた完全に人工的な空間です。

1
2
3

⑦ 次の線部のことばは、どのことばを修飾していますか。記号で答えなさい。
(1点×2) [山手学院(神奈川)]

- 1 最近つくづく彼と出会ってほんとうによかったと思う。
2 ついに登頂に成功したという話題でにぎやかでした。

1
2

⑧ 次の文を読んで、後の問いに答えなさい。(2点×4)

〔追手門学院(部分)(改題)(大阪)〕

秋の^ア昼下がり^イ、白い^ウ子犬^エをつれた^オひとりの^カ少年^キが、^ク並木道^ケで^コ空^クを見上げていた。

1 この文の主語と述語を記号で答えなさい。

主語
述語

2 ———線①・②は文中のどのことばにかかりますか。それぞれ記号で答えなさい。

①
②

⑨ 次の——線①～⑧は、その文の中で、例のA～Dのどれと同じ役割をしていますか。記号で答えなさい。(2点×8)

〔山脇学園(東京)〕

例 天気^Aがいいので、私は野原^Bを散歩^Cしました。

- ① 庭^アには霧^イがかかっています。
- ② 庭^ウには霧^エがかかっています。
- ③ 花^カが咲いた。
- ④ 雨が降^クったが、外^ケ出^コしました。
- ⑤ 雨が降^クったが、外^ケ出^コしました。
- ⑥ 木^カも生きています。
- ⑦ 風^カが吹^クけば、花^キがどんどんちっってしまう。
- ⑧ 風^カが吹^クけば、花^キがどんどんちっってしまう。

①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧

⑩ 「海には波がよせ、山には風がふく。」と同じ構造を持つ文は、次のどれですか。二つ選び、記号で答えなさい。(3点×2)

〔共立女子第二(東京)〕

- ア 日本では、水は自然のもたらす重要な資源である。
- イ 兄は優秀な大学生で、弟は元気な小学生です。
- ウ 教室には先生がいて、校庭には生徒がいた。
- エ 車に乗った二人は、また街のほうへ出かけた。
- オ 父は、母がいないのでふきげんです。
- カ 今年はどうやら、雨が降る期間が長いようだ。

⑪ 次の文は四つの成分でできています。文の組み立てとして最も適当なものを後から選び、記号で答えなさい。(2点)

〔鹿児島(鹿児島)〕

いろいろつらいことがある。

- ア 修飾語＋述語＋修飾語＋主語
- イ 主語＋修飾語＋修飾語＋述語
- ウ 主語＋述語＋修飾語＋修飾語
- エ 修飾語＋修飾語＋主語＋述語

--

12 次の1～4の文の——線部と——線部の文節の関係と同じものを後のア～エから選び、それぞれ記号で答えなさい。(2点×4)

〔駒沢学園女子(東京)〕

1 これはあわれな悲しい物語です。

2 すすめられたので思いきって食べてみた。

3 遠くで目覚まし時計のベルが鳴った。

4 万葉集は最古の歌集だ。

ア 話している人が父だ。

イ 夏の海はにぎやかだ。

ウ すずしい風がそよそよと吹く。

エ 彼はほがらかで親切だ。

1
2
3
4

13 次の文は、主語と述語の関係が合っていない。主語と述語の関係が正しい形となるように必要なことばをおきなったり、書きかえたりして、全文を書きなさい。(4点×2)

〔お茶の水女子大附(東京)〕

1 わたしが日本語の中で最もむずかしいと思うのは敬語であると感じた。

2 きのおわたしは学校の帰り道で、子犬が自分の倍以上もある大きな犬にほえかかっていた。

14 次の1～4について、それぞれあげたことばを用いて文を作るとき、一つだけ不要なことばがあります。そのことばを記号で答えなさい。(3点×4)〔洛南高附(京都)〕

2	1

1 ア 母校の イ 去る ウ 先生は

2 エ 創立記念日でした オ 四日は カ 我が

3 ア 目指すのだ イ 君たちには ウ 人に

4 エ 社会に オ なってほしい カ 役立つような

5 ア 見ると イ 何か ウ 彼が エ 見える

6 オ あつたと カ ところを キ どうして

7 ク 笑っている ケ いいことが

8 ア 毎日 イ 連れて ウ うちの エ ひどい日

9 オ 犬を カ 以外は キ 散歩に ク たぶん

10 ケ いくことにした コ 雨の

1
2
3
4

1 漢字の書きとり

(1~4P)

- ① 貯水 2 延期 3 郵送 4 同盟 5 印刷
- ② ① 障害 ② 盛 ③ 価値 ④ 情報 ⑤ 誤用 ⑥ 管理
- ③ 1 念願 2 新刊 3 救護 4 接近 5 穀物 6 孝行
- 7 山腹 8 会心 9 停留所 10 一挙
- ④ 1 演奏 2 政策 3 憲法 4 安否 5 就職
- ⑤ 1 練 2 整 3 細 4 裁 5 断 6 耕 7 差 8 筋
- 9 支 10 厳
- ⑥ 1 刻む 2 務める 3 宣伝 4 健在
- ⑦ 1 感性 2 温存 3 養成 4 親身 5 便 6 染
- ⑧ 1 工面 2 定石 3 消息 4 難航 5 可決 6 見当
- 7 樹立 8 承 9 敗 10 建前
- ⑨ 1 温厚 2 誠実 3 無我夢中 4 表情
- ⑩ 1 確信 2 必死 3 開放 4 制作 5 絶対
- ⑪ 1 開・深 2 備・防 3 門・予 4 験・断 5 意・易
- ⑫ 1 拝見(拝読) 2 縮小 3 敬語 4 誤解 5 就任
- 6 預金 7 納得 8 継承

解説

①⑥ 漢字の書きとりでは、その漢字が書けるという点まで満足せず、意味を理解し、十分に使えるかどうかという点までチェックすることが重要である。特に「学級委員をツトメル」などのように同じ読み方のある漢字は、その意味と漢字がしっかりと結びついてい

て初めて正しい漢字が書けることになる。

⑦・⑧ ①⑥より思い浮かびにくい漢字が並んでいるので、思い通りに書けないかもしれない。「温存」や「定石」などがきちんと書けた人は国語の力がある。

⑨・⑩ 漢字の読み方がわかっていて、その読み方に従って漢字を書くというのが普通の書きとり問題だが、この二問は意味を考えて書く漢字を決定しなければならない。意味のわからない人には、書けないようになってい

⑪ 同じ音や似たような形の漢字は書きまちがいが起きやすい。3の「専門家」は特にまちがえる人が多いので注意。

ラストチェック問題 ①

○ 次のア・イは形が似ていて書きまちがいが起きやすい漢字です。

問 線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- | | | | | | | | | |
|-----|---|----|---|---|-----|-----|-----|-----|
| (1) | ア | ケン | 査 | を | す | る。 | () | () |
| | イ | ケ | ワ | し | い | 山 | 道。 | () |
| (2) | ア | 最 | テ | イ | () | () | () | () |
| | イ | テ | イ | 辺 | () | () | () | () |
| (3) | ア | グ | ン | 衆 | の | 中 | に | ま |
| | イ | 都 | 市 | を | 離 | れ、 | 静 | か |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

難ト 難ト (E) 難ト 難ト (Z) 難ト 難ト (I) 最

5 熟語の組み立て

(17~20P)

- ① 1 カ 2 オ 3 エ
 ② 1 旧(古) 2 悪 3 害 4 亡
 ③ 1 富 2 材(樹) 3 助(護)(援) 4 倉
 ④ 1 ウ 2 イ 3 オ 4 イ 5 エ 6 ア 7 オ 8 エ
 9 ア 10 ウ
 ⑤ 1 イ 2 ア 3 エ
 ⑥ 1 エ 2 オ 3 イ
 ⑦ 1 エ 2 ウ 3 イ 4 ア 5 イ 6 エ 7 ウ 8 オ
 9 ア 10 ウ
 ⑧ (順不同可) 1 ア・ケ 2 エ・ク 3 オ・キ 4 ウ・コ
 ⑨ 1 功罪 2 縦横 3 是非 4 公私
 ⑩ 1 寒冷(冷寒) 2 急病 3 始業 4 無限
 ⑪ (順不同可) (年来(来年)・会議(議全)・分配(配分)・読解(解読)・
 要所(所要)
 ⑫ (順不同可) 1 エ・ク 2 カ・コ 3 イ・オ 4 ア・ケ
 5 ウ・キ
 ⑬ 1 立 2 着 3 実
 ⑭ 1 品 2 国

解説

① 1の「作」は読みも「サク・サツ・サ」と変わるのに注意。
 ② 4の「興」には「新しく生じる」「さかんになる」の意味で「コウ」という音読みになる場合と「おもしろみ」の意味で「キョウ」の音読みになる場合の二つがある。ここは「亡」(ボウ) (「亡くなる」と組み合わせて反対の意味の漢字の組み立てになる。

- ⑤ 1は反対の意味の漢字の組み合わせ。2は同じような意味の漢字の組み合わせ。3は下から上へ読むと意味がわかる熟語。
 ⑥ 1はエが同じような意味の漢字の組み合わせで、ほかは上の字が下の字を修飾する。2はオが下から上へ読むと意味がわかる熟語で、ほかは同じような意味の漢字の組み合わせ。3はイが同じような意味の漢字の組み合わせで、ほかは反対の意味の漢字の組み合わせ。
 ⑫ 1の「上の字を音で、下の字を訓で読む」ことを「重箱読み」という。2の「上の字を訓で、下の字を音で読む」場合は「湯桶読み」。

ラストチェック問題 ⑤

○ 熟語は、その組み立てを考えると意味がよくわかるようになります。語い力をつけるために組み立ての問題を数多く練習するとよいでしょう。次の問題を考えて下さい。

問 ——— 線①〜⑥の熟語の組み立ては後のどれと同じですか。

① 国立の博物館では展示品の撮影を禁止している。

② 遠路はるばる日本に来ていた楽団が帰国した。

③ 毎日読書する習慣は貴重である。

ア 日照(日が照る) イ 良薬(良い薬)

ウ 学習(学び習う) エ 登山(山に登る)

① () ② () ③ () ④ () ⑤ () ⑥ ()

ㄥ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺

11 主語・述語・修飾語

(41~44P)

- ① 1 ①・⑤ 2 ④・⑤ 3 ②・⑤ 4 ⑤・⑦ 5 ④・⑥
- ② 1 ④ 2 ⑤ 3 ③ 4 ④ 5 ④
- ③ ① C ② B ③ C ④ B ⑤ A
- ④ 1 B 2 A 3 C 4 A 5 B
- ⑤ 1 ×・⑤ 2 ③・④ 3 ③・⑤ 4 ×・⑤ 5 ⑤・②
- ⑥ 1 ③ 2 ② 3 ① 4 ×・⑤ 5 ⑤・②
- ⑦ 1 ⑤ 2 ②
- ⑧ 1 カ・ケ 2 ① カ ② ケ
- ⑨ ① C ② D ③ B ④ A ⑤ D ⑥ B ⑦ A ⑧ C
- ⑩ (順不同可) イ・ウ
- ⑪ エ
- ⑫ 1 エ 2 ア 3 イ 4 ウ
- ⑬ 1 例 わたしが日本語の中で最もむずかしいと思うのは敬語である。
2 例 きのうわたしは、学校の帰り道で、子犬が自分の倍以上もある大きな犬にほえかかっているのを見た。
- ⑭ 1 ウ 2 ア 3 キ 4 ク
- 解説** ① 主語を示す「は」「が」「も」「でも」の助詞に注意する。ただし、述語をまず最初に決定して、その意味のつながりを確かめよう。
② 修飾語は、意味のつながりをよく考えること。主語・述語をくわしくする場合が多いので、主語・述語とのつながりに注意。
④ 文型は、述語の品詞で考える。Aは動詞、Bは形容詞・形容動詞、Cは名詞・代名詞である。

しゅうしょく

⑨ 例文は複文で、Aが主語―述語の形の修飾語句になっており、Bが主語、Cが修飾語、Dは述語である。

⑩ 重文の構造になっていることを考える。

⑪ 主語(ことが)、述語(ある)を発見することで解ける。

⑫ 1はたがいに並立している。2は動詞と補助する語の関係。3は主語―述語、4は上が修飾語という関係である。

⑬ 1は「思うのは―感じた」という主語―述語の関係を直す。2は「わたしは―ほえかかっていた」がおかしい。

⑭ 1 去る四日は我が母校の創立記念日でした。

2 君たちには社会に役立つような人になってほしい。

3 彼が笑っているところを見ると、何かいいことがあったと見える。

4 雨のひどい日以外は、毎日うちの犬を散歩に連れていくことにした。

ラストチェック問題 ⑪

問 次の文で主語のない文はどれですか。番号で答えなさい。

- 1 クラスの中では君こそ委員長にふさわしい人です。
- 2 やわらかい南の風がわたしのほほをなでていく。
- 3 兄弟でセミをとった喜びを昨晩日記につけた。